国際理解教育/開発教育　学習指導(活動)案

【実践者】

授業者氏名	永島　悠一	学校名	糸魚川市立糸魚川小学校 実施校(兼務校):青海小学校
教科(科目)・領域	総合的な学習	対象学年(人数)	6年　1組(17名)
実践年月日もしくは期間(時数)		2025年11月中旬　～　12月9日(　6時間)	

【実践概要】

1. 単元名(活動名):　私たちの祭り　世界の祭り

2. 実践する教科・領域
総合的な学習の時間

3. 学習領域

	1	2	3	4
A 多文化共生	文化理解	文化交流	多文化共生	
B グローバル社会	相互依存	情報化		
C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	

4. 単元の目標(評価規準を意識して設定)

【総合的な学習の時間】

・世界の様々な祭や地域の祭りについて調べる活動を通して、普遍性に気づき、人々の祭りへの願いを知り、地元の祭りを大切にしたい思いを深める。(総合的な学習の時間)

5. 単元の評価規準	①知識・技能	・世界と日本の地域の祭りについて理解している。
	②思考・判断・表現	・世界と日本の地域の祭りを比較し、祭りで大切なことについて自分の考えを表現している。
	③主体的に学習に取り組む態度	・世界と日本の地域の祭りに親しみを持ち、前向きに学ぼうとしている。 ・世界と日本の地域の祭りを身近に感じ、地域の祭りを大切にしようとしている。

6. 単元設定の理由・単元の意義

【単元設定の理由あるいは単元の意義】

本単元では、世界各地の祭りに込められた願いや意味を理解することを通して、多様な文化への関心を高め、他者を尊重する態度を育てることを目指す。あわせて、自分たちの地域に伝わる祭り「竹のからかい」を題材とし、世界の祭りと比較調査することを通して、普遍性、人々の祭りへの願いを知り、地元の祭りを大切にしたい思いを深める。これにより、「自分たちの文化を理解することから異文化を理解することへ」という学びの流れを大切にし、伝統や地域の人々とのつながりの大切さを見つめ直す機会にしたい。

【児童／生徒観】

本クラスの児童は、前向きで意欲的に学習に取り組み、自分の考えや思いを進んで伝える姿が多く見られる。一方で、異文化に対して距離を置くことがある。学校行事として正月行事「竹のからかい」を全校で体験しており、幼い頃から参加して深い思いを持つ児童もいるが、十分に祭りの意義や関心を持っていない児童もいる。地域の魅力については、「きれいなヒスイ」「自然豊か」と答える子もいるが、「何もない」と答える子もいる。

本単元では、国内外の地域の祭りの比較を通して、自分たちの地域の祭り「竹のからかい」の価値や意義に気付き、地元の祭りを大切にしたい思いを深めさせたい。

【教材観】

子ども達は毎年1月15日に行われる地元の子正月行事「竹のからかい」に参加している。地元の祭り開催前には、毎年竹のからかい保存会の方々の協力の下、「青海小　竹のからかい」を学校行事として行っている。縦割り班ごとにチームになり、手ぬぐいを頭に巻き、左義長の歌を歌い、長い竹を引き合う経験を積み重ねてきた。地元の大切にしたいという思いを深めるために、なぜ竹のからかいをずっと子どもたちのこれまでの経験を想起させて「祭り」の特徴に考えさせ、高学年以上の子たちは世界各地の多彩な祝祭を、記事と写真で立体的に紹介している。祝祭の起源を知り、祝祭に寄せる人々の情熱に思いをめぐらせることは、世界各地の文化を再発見し、共感することがで

きる。
　子どもたちは毎年 1 月 15 日に行われる地元の子正月行事「竹のからかい」に参加している。地域の保存会の方々の支援を受けながら、学校行事としても「青海小 竹のからかい」を実施しており、縦割り班でチームを組み、手ぬぐいを頭に巻き、左義長の歌を歌いながら長い竹を引き合う経験を積み重ねてきた。こうした経験を通して、子どもたちは地域の伝統行事を「自分たちの文化」として誇りに思い、大切にしたいという気持ちを育んできた。本単元では、これまでの「竹のからかい」に関する体験を想起させながら、「祭りとは何か」「人々はなぜ集まるのか」「何のために参加するのか」「どのような問題があるのか」といった問いを立て、家族や竹のからかい保存会の話から話を聞いて、人々の思いや願いを考えさせたり、問題（若年人口の流失、少子化、伝承者の高齢化など）に触れさせたりする。
　国内外の地域の多彩な祝祭とも比較して、祭りの起源やそこに込められた人々の願い・情熱に思いをめぐらせる。国内外の地域の祭りを比較することで、文化は異なっても、人々が喜びや祈り、つながりを大切にするという普遍的な思いを地域で守り続けていることに気付かせたい。

【指導観】
　本単元では、地元のお祭り「竹のからかい」と国内外の地域の祭りを探求・比較することを人々の祭りへの思いや願いの普遍性に気づき、地元愛を深めることをねらいとしている。指導に当たっては、以下の視点を重視する。
① 地域（LOCAL）の祭りにフォーカスした問題解決学習
　・問題の追求（竹のからかいと国内外の祭り調べ）や地元の人との交流を通して、子どもたちが主体的に問題に気づき、追求し、解決に向けて思考を深めていく学習の流れを大事にしたい。
② 異文化理解
　・海外の地域の祭りを知ることで、各地域の特色を活かした多彩な祝い方を知り、比較することで見えてくる共通点と相違点に気づき、国内外ともに大切にしている人々の願いは先祖代々大事に守り続けていることに気づかせるように支援する。社会の状況変化と共に祭りも変化していることにも気づかせたい。

7. 単元計画（全 6 時間）

時間 日時	ねらい	学習活動	資料など
1 11/18	【問題の発見と追究】 ・日本の祭りを知る。 ・世界の地域の祭りを知る。 ・祭りらしいものの特徴を考える。	・日本と世界の祭りを知る。 ・祭りの特徴を取り出す。 →子どもから出た祭りらしいもの（衣装、屋台、食べ物、道具、遊び、人混み、神輿）	・地球の歩き方「世界の祝祭」 ・ワークシート
2 11/25	【問題の追究】 ・竹のからかいについて、時期、願い、表現、問題について調べる。	竹のからかいについて調べる。 ＊（家族や竹のからかい保存会の方	・青海町教育委員会編(1992) 「重要無形文化財　青海の竹のからかい」
3 12/2 ①	【問題の追究】 ・地域の祭り「竹のからかい」について調べてきたことを伝えあったり、竹のからかい保存会の青海小の長谷川先生から話を聞いたりして、「竹のからかい」の役割と人々の思いや願いを考える。	・地域の祭り「竹のからかい」について調べてわかったことを紹介しあう。 ・竹のからかい保存会の青海小長谷川先生にインタビューを行い、話を聞く。	・竹のからかい保存会の青海小長谷川先生のお話
4 12/2 ②	【問題の追究】 ・竹のからかいと似ている国内外の地域の祭りと似ている地域（願いが豊作豊漁、除災招福）の祭りを調べ、発表準備をする。	・地元の祭りと似ている（願いが豊作豊漁、除災招福）国内外の地域の祭りを調べる。 国内の祭り 御田植祭り（愛媛県今治市） 長崎ペーロン祭り（長崎県長崎市） 海外の祭り シルベスタークロイゼ（スイス　アッペンツェル） ロイクラトン（タイ　チェンマイ）	・「世界の祭り」「日本の祭り」などの国内外の祭りの図鑑。

5 12/9 2限	【問題の追究】 ・竹のからかいと似ている国内外の地域の祭りと似ている国内外の地域の祭りを調べ、祭りについて知る(地域、時期、起源、願い、特徴など)。	・地域の祭りと似ている国内外の地域の祭りを調べ、発表準備をする。	・「世界の祭り」「日本の祭り」などの国内外の祭りの図鑑。
6 (本時) 12/9 6限	【まとめ・問題の解決】 ・地域の祭りと似ている国内外の地域の祭りの発表を聞いて比較し、それぞれの特色(ちがい)や普遍性に気付き、人々の祭りへの願いを知り、地元の祭りを大切にしたい思いを深める。	・地域の祭りと似ている国内外の地域の祭りについて伝えあい、比較し、人々の願いに触れる。	・前時までに使用した資料や写真 ・子どもたちの発表スライド ・「新潟県の祭り」巻頭分

8. 本時の展開(概略)

本時のねらい:地元の祭りと似ている国内外の地域の祭りの発表を聞いて、地元の祭りと比較して、共通点や相違点に整理し、地元の祭りを大切にしたい思いを深める。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (5分)	**① これまでの学習の振り返りをする** T:「これまでの学習を振り返りましょう。1時間目に日本の祭りクイズと世界の国紹介を聞いて、「祭りらしいもの」をみんなで考えましたね。2時間目には、地域の祭り「竹のからかい」について「祭りらしいこと」に照らし合わせながら調べました。3時間目には、竹のからかい保存会の長谷川先生のお話を聞いて地域の祭りについて深く知りました。4、5時間目に竹のからかいと似ている国内外の祭りについて調べ、今日発表してもらいます。今日は、国内外の地域の祭り発表を聞いて、それぞれの祭りの特色や共通点を見つけましょう。」	・これまでの学習を想起できるように、学習してきた祭りの特徴や写真を掲示する。	・本単元での学習で使用した資料や写真
本時の目標:国内外の地域の祭り発表を聞いて、それぞれの祭りの特色や共通点を見つけよう!			
展開 (35分)	**② 地元の祭りと似ている国内外の祭りについてグループで発表をする。** T:「各班で調べてきた祭りについて発表しましょう。それぞれの祭りを比較しながら、似ていることや違っていることを考えながら聞き、気づいたことをワークシートに書きましょう。」 ・日本と世界の地域の祭り班ごとに調べてきた祭りについて発表する。(4人班 1人3分程度) 主な視点:「地域、願い、時期、表現、どのように祝うのか、自分たちが考えたこと」 【児童が発表する祭り】 ・1班 御田植祭 開催地:愛媛県今治市 願い:豊作祈願、除災招福 歴史、開催時期:1346年～、5月5日 特色:稲の精霊と一人相撲をとり、精霊が勝つと豊作になる。	・祭りのスライド(写真)を示しながら、まとめてきた祭りの特徴と自分たちが考えたことを発表する。 ・ジグソー学習の体系で発表を行う。 シルベスタークロイゼ:御田植祭り ロイクラトン:ペーロン祭り 御田植祭 in 愛媛県今治市	・地球の歩き方「世界の祝祭」 ・祭りの写真 ・祭り調べワークシート ・各班のプレゼンスライド

	・2 班　ペーロン祭り 開催地：長崎県長崎市 願い：除災、豊漁、海上安全 歴史、開催時期：1655 年～、5 月 特色：各地から人が集まりペーロンというボートを使って競争する。 ・3 班　シルベスタークロイゼ 開催地：スイス　アッペンツエル 願い：除災招福 歴史、開催時期：1633 年～、12/31～1/13 特色：仮装した人たちが家々を回って歌や鈴の音で新年を祝う。 ・4 班　ロイクラトン 開催地：タイ　チェンマイ 願い：豊作感謝、水の女神に感謝 歴史、開催時期：1300 年～、10 月～11 月 特色：満月の夜に空にランタンを打ち上げる。川に灯篭を流す。 T:「4 つの祭りを比較して、「考えたこと」「共通すること」「違っていること（各地の様々な形・特色）」を各自ワークシートに記入しましょう。」 T:「それぞれの祭りを比較して、違うことは何でしょう」**（特色・違い）** C:「祝い方が違った。相撲やレースなど争うものが多いこと。竹のからかいに似ているなあ」 C:「服装が違う」 C:「クリスマスのようなイベントがある」 C:「その土地の良さを活かしている。」 C:「願いが各地違う」 C:「開催季節が違う」 T:「それぞれの祭りの特色は違うけど、共通していることは何でしょうか」**（共通点）** C:「長い歴史がある」 C:「どの祭りも悪い霊を追い払い、幸せを願っている。」 **③　まとめ** T:「今日は国内外の祭りを比較しました。国内外祭りの祝い方は違うけど、願い似ていることに気づきましたね。そして、祭りは地域の文化を守ることに重要な役割をあることに気づきましたね。社会の状況の変化ともに存続の危機にある祭りもあります。祭りは地域の人たちの幸せや健康を一緒に願ったり、豊作豊漁を願う大事な願いが込められています。国内外関係なく、その思いは変わらず	 ・ワークシートに 4 つの祭りの相違点と共通点を記入する。 ・地域の祭りの特色（ちがい）だけでなく、共通点も気付かせるために、追質問をする。 ・この時間で終わりではなく、今後も大切にしていってほしいことであることを子どもたちに伝える。 ・新潟県の祭りの巻頭文を紹介しながら、教師の思いを伝える	

	人々の手によって守り続けてきました。 私たちも、地域の人たちの願いを感じながら、その思いを大切して、お祭りに参加してほしいと思います。」	祭りは伝統文化を伝承する。 祭りは伝統技術を伝承する。 祭りは歴史を考えさせる。 祭りは先祖を回想させる。 祭りは地域の連帯を想起させる。 祭りは人と人との出会いをつくる。 祭りは人に生きがいを与える。 祭りは人を明るくする。 祭りは人に感謝と敬いの心を育む。 祭りは人を大きく育てる。 そして 祭りは人生を豊かにする。	・資料「新潟県の祭り」巻頭文
まとめ (5分)	**④　振り返り**	・ワークシートに本時で学んだことを記入する。	

9. 評価規準に基づく本時の評価(評価方法)

外国の祭りについて知ったことを、日本や糸魚川の祭りとの共通点や相違点を整理して、考えている。
(思考・判断・表現)(ワークシート、発言、観察)

10. 学習方法および外部との連携

・ALT の活用　・竹のからかい保存会の先生

11. 学校内外で国際理解・授業実践を広める取り組み

① 校内授業公開

② 竹のからかい保存会の青海小学校長谷川先生から竹のからかいで行われることや願いの話を聞く。
第2時で事前に竹のからかいについて調べて、竹のからかい保存会所属の長谷川先生に質問したいことを集めまとめておいた。当日は、質問集の質問を中心に答えてもらう形式で長谷川先生から竹のからかいについて話をしていただいた。さらに、アメリカ出身の ALT にも参加してもらい、外国人から見た日本の地域の祭りについて感じたことを話してもらった。自文化(長谷川先生、児童)と他文化(ALT)からの両視点から話を深めた。

③ 伝統行事「竹のからかい」とは毎年 1 月 15 日に行われる糸魚川青海地区の小正月行事。
市内に 4 つある国の重要無形民俗文化財の一つであり、江戸時代から続いていると言われている。
1 月 7 日の子どもたちによる①「お松とり」から始まり、②竹伐り、③飾り竹、④竹のからかい、⑤飾り竹なおし、⑥賽の神の大火で幕を閉じる。特に 1 月 15 日の④「竹のからかい」は、顔に「隈取り(くまどり)」をした若衆が佐儀長(さぎのちょう)の歌を歌いながら竹の周りを回った後、 2 本の青竹を組み合わせ東西に分かれ引き合い、祭りはクライマックスに達する。勝敗は竹が引かれたり、折れたり、割れたりした方が負け。勝った方は、豊年・豊漁になると言われている。祭りで使用した竹は青海の海岸で賽の神(さいのかみ)焼きをし、その年一年の無病息災と豊年・豊漁を祈願する。

【自己評価】

12. 苦労した点　※学習活動が展開する中での苦労や、そこで見えてきた問題点を記入して下さい。

学習のテーマとして「祭り」を扱うことの難しさを痛感した。祭りは多種多様であり、規模や形式も様々であり、単純比較するのは難しい。発達段階的にも、児童の祭りへの関心といえば屋台や出店などの食べ物に興味がいきやすい。児童と語り合っていて、竹のからかいに関して毎年参加している子とそうでないこの間にも祭りへの当事者意識の差は大きいと感じた。だからこそ、何のために竹のからかいを毎年開催しているのかという地域の人々の願いを知ることはとても重要だと感じた。どのように祭りの本質へ迫らせるか、そのアプローチに苦労した。また、担任ではなく外国語専科という週に2時間の持ち時間の中でどれだけ問題解決学習を仕組むべきか毎時間悩んだ。外国語科と総合的な学習の時間をどうにか組み合わせ単元を作れないかと模索したが表現したい内容と児童の英語の言語材料のギャップが大きいため、総合的な学習の時間に絞り、問題解決学習に取り組んだ。

第4時で児童が発表する祭りを選ぶ際に、竹のからかいと似ている国内外の祭りを調べさせた。似ている視点を「豊作豊漁」とだけ共有させてしまったため、タイのロイクラトンといった地域ではなく国内各地で広く行われている祭りを選んでしまっていた。祭りを調べる前にしっかりと似ていることの視点を児童と共有すればよかったと反省している。そのため、本時で祭りを比較するのに苦戦している児童が何人かいた。国家的祭りと地域的祭りを比較しては地域社会としての視点へ迫りにくくなってしまった反省している。

結果的に総合的な学習の時間の問題解決学習としては行えたものの、異文化理解の側面は達成できたが、本単元における国際理解教育としてのポイントを見いだせずに終わってしまった。ここからどう国際理解教育へ繋げるかが課題である。

13. 改善点

どこに国際理解教育としてのポイントを置くのかが改善点の核となる。以下に2つ改善点を示す。

・1つ目は、調べた祭りに参加した子どもとオンラインで繋いで、声を聞いてみるのも面白そうである。祭りの持つ高揚感や一体感を聞いて、「祭りって楽しい！」と肌で感じることで地域の祭りを「祭りって楽しい！守っていきたい！」という意識につながり、地域社会へ視点が行き、持続可能な地域社会や祭りへ深掘りする。

・2つ目は、チーム一員として本単元に尽力してくれたALTの先生「世界中に祭りはあるので、共通のトピックだと思う。祭りを通してもしくは祭りについて、英語でコミュニケーションを取ることもできる」の声から、外国語科にも繋げられる可能性を見つけることができた。例えば、オンラインでALTの家族や友人に糸魚川の祭りを紹介し、逆にその地域の祭りについて紹介してもらうのもよいと思う。

14. 成果が出た点

本単元を通して、自文化（竹のからかい）について追及し、他文化（国内外の地元の祭り）と比較して異文化を理解し、祭りのもつ普遍性に気づくことができた。国内外の祭りを調べる時には、「稲の神様と相撲して豊作を願うの？」「ボートレースをして豊漁を願うんだ。港の町長崎らしくて面白い」などの声が聞かれ、地域の特色を活かして祭りを盛り上げていることに興味津々であった。

15. 学びの軌跡（児童生徒の反応・感想文・作文・ノートなど）

〇児童の振り返り（4時　竹のからかい保存会の先生のお話を聞いて）

・左義長の歌の意味が分かりました。2本の竹をクロスさせるのは蝶の形にすることがわかりました。300年前から続いているのを知ってびっくりしました。

・青海小の竹のからかいしか自分はしたことがなかったけど、長谷川先生のお話を聞いて実際の竹のからかいに行ってみたくなりました。

→竹のからかい保存会の先生からの話を聞いて、今まで何となくやっていたこと（左義長、竹をなぜ使うのかなど）の意義を知り、竹のからかいへの理解を深められた。竹のからかい開催地域外に住む児童も実際の竹のからかいに参加したい意欲を高めていた。

〇児童の振り返り（本時）

・伝統的な祭りはすべて悪いものを追い払い、豊作などの良いことを願うことが多いことがわかりました。竹のからかいもそういうものだと言うことがわかりました。

・他の国も悪いものを追い払い、良いことを願うことがわかりました。もっとたくさんの祭りを調べてみたいなと思いました。

・元々、私は地域の祭りに詳しくありませんでしたが、この授業で他の県や外国の祭りのことも詳しく知ることができてよかったです。また、他の祭りと自分たちが調べた祭りの違うところ、同じところ、どの祭りも何かを願って開催されていることを知ることができてよかったです。

・大体の祭りにはたくさんの願いが込められていることがわかった。たくさんの人が参加する。みんなが楽しそうにやっていてすごい。祭りを生きがいとしてる人もいる。歴史も深いことがわかった。

・祭りは人生を豊かにすることや伝統文化を継承することがわかった。

・色々な祭りでも願いはだいたい同じだということが分かった。そして、他にもいろいろな国の祭りを調べてみたいと思いました。

・祭りは除災招福で厄払いをして、豊作豊漁で幸せを願う大事な行事だとわかりました。

→国内外の祭りのことを知り、比較することを通して、祭りの普遍性に気づくことができた。祭りの持つ多様性に興味を示し、もっといろんな祭りを知りたいという記述が多くみられた。どの祭りも100年以上もの長い間、地域で伝統を守り続けてきたその思いの深さに触れられた。そして、祭りが地域の人々の幸福を願う重要な行事であることに気づくことができた。この思いを胸に2026年1月15日の竹のからかいに参加することを願う。

16. 授業者による自由記述

外国語専科になって5年になる。私が1番大事にしてきた願いは、外国語を通して異文化理解に触れ、ふるさと糸魚川への郷土愛を深めることである。国際交流を通して、糸魚川の町の魅力を国内外に発信してきた。その中で「他地域の人たちに糸魚川の魅力を知ってもらう。異文化を知るだけでいいのか」と自問自答してきた。いわば表面的に地域の魅力を伝えて終わっていたのかもしれない。「知る」のその先にある何かを探求したいと葛藤していた。さらに外国語科に国際理解のポイントをどう組み込めるか悩みに悩んだ。

今回久しぶりに専科の立場でありながら、地域の祭りをテーマに総合的な学習の時間　問題解決学習の単元デザイン作りに挑戦した。私自身、祭りについてのそこまで詳しくなかった。単元をデザインするにあたり、ありとあらゆ

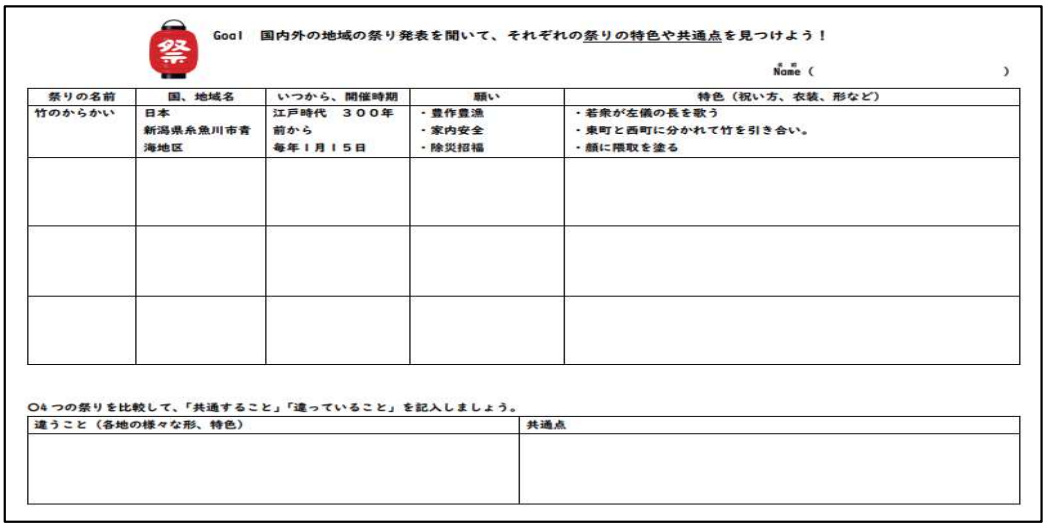
る祝祭を調べた。各国、各都道府県、印象的な祭りがたくさんあり、世界一周祭り旅行をして自分の肌で感じてきたいと思ったくらいだ。
　最初は竹のからかいについてあまり関心を示さなかったが、本単元を進めていく中で子どもたちが祭りを見る視点（歴史、開催地域、願い、祝い方）を学ぶことで、各祭りの楽しさや多様性に興味を示すようになった。国内外の祭りの比較を通して、地域の祭りの本質に迫り、地域への愛を深めていく姿が印象的であった。今回の学習で気づいた「普遍性」を胸にこれから出会う人々と心を通わせ、世界への視野を広げつつも、地域を誇りにして、持続可能な地域社会の担い手として歩んで行ってほしいと願う。これからも国際理解教育、開発教育、異文化理解のエッセンスを含んだ授業づくりに努める。

【参考資料】

- 青海町教育委員会編(1992)「重要無形文化財　青海の竹のからかい」
- 地球の歩き方編集室(2021)
  「W11　世界の祝祭　−歴史と文化に彩られた世界のお祭り&祝日を旅の雑学とともに解説（地球の歩き方 W）」
- 地球の歩き方「世界のグルメ図鑑」
- 小林　敏行(1978)「新潟の祭り」新潟日報事業社
- 竹永　絵里(2017)「世界のお祭り」
- 芳賀　日出男(2006)「世界の祭り大図鑑」
- 芳賀　日出男(2008)「日本の祭り事典」
- 松尾　恒一(2015)「日本の祭り大図鑑」ミネルヴァ書房
- 柏原　順太(2016)「日本と世界の祭り」小学館
- ロブ・ロワーズ(2019)「世界一おもしろいお祭りの本」
- 神崎　宣武(2016)「47 都道府県ビジュアル文化百科　伝統行事」

【資料】
・本時(6時)の板書

・本時(6時)　ワークシート



Goal　国内外の地域の祭り発表を聞いて、それぞれの祭りの特色や共通点を見つけよう！

Name（　　）

祭りの名前	国、地域名	いつから、開催時期	願い	特色（祝い方、衣装、形など）
竹のからかい	日本 新潟県糸魚川市青海地区	江戸時代　３００年前から 毎年１月１５日	・豊作豊漁 ・家内安全 ・除災招福	・若衆が左儀の長を歌う ・東町と西町に分かれて竹を引き合い。 ・顔に隈取を塗る

○4つの祭りを比較して、「共通すること」「違っていること」を記入しましょう。

違うこと（各地の様々な形、特色）	共通点